

確定申告スタート

県内税務署 来月15日まで

2015年分の所得税の確定申告受け付けが16日始まり、富山税務署が設けた富山市のCICビル会場や高岡、魚津、砺波の各税務署などに大勢の人が訪れた。3月15日

まで。

CiC会場にはパソコン41台を設置。訪れた人は税務署職員の説明を聞きながら、国税電子申告・納税システム(e-Tax)などを使って手続きをした。各窓口の受付は平日午前9時午後4時で、CiC会場は21日と28日の日曜日にも対応する。自宅パソコンからもe-Taxで申告可能。国税庁ホームページ



税務署職員の説明を受けながら確定申告する人たち
CiC

シの申告書等作成コーナーには、給与・年金所得者向けの画面を設けた。所得税の確定申告は、自営

新年度から無料相談会開催検討

県家庭問題相談センター

県家庭問題相談センター(富山市内幸町、斉藤好一代表理事)は16日、富山市の富山第一ホテルで研修会を開き、新年度から無料相談会の開催や相談員の増員に力を入



業者や給与が2千万円を超えるサラリーマン、給与以外に年間20万円を超える所得がある人らが対象になる。

れることを確認した。写真。

センターは2014年8月、家庭問題に悩む人に無料で相談に乗るよう斉藤代表理事が設立。内容によって、弁護士や看護師、司法書士ら8人が無償で相談者の話を聞く。15年11月から本格的に活動をスタートさせ、ことし1月

末まで約20件の相談が寄せられた。家庭内暴力(DV)や育児放棄、消費者トラブルなど多岐にわたるといふ。

研修会には、役員を務める弁護士や税理士らが参加した。斉藤代表理事が活動状況を報告。参加者から「他の機関で相談してから来る人が多く、一人一人の対応時間が長くなりがち。相談員をもっと増やした方がいい」「家庭問題は幅が広く難しい」などの意見が出された。

ファスナー使い
プレスレット作り
都内でYKK

YKKは16日、東京都千代田区のイベント施設「ものづくり館 by YKK」で、ファスナーとビーズを使ったプレスレットを作るワークショップを開き、女性らがオリジナルの一品を仕上げた。参加者は講師の指導を受けながら、黒や紺色のファスナーを選び、金色などのビーズ

高齢者の交通事故の増加に歯止めをかけようと、県警は3月1日から、交通安全教室を受講したお年寄りが県内のスーパーで特典を受けられる取り組みを始める。協賛するのは8社91店舗で、65歳以上が対象。社によって、受講後にもらえる「修了証」を買い物の精算時に示せばポイントが加算されたり、受講した際に割引券がもらえたりする。

交通安全教室 受講したら特典

県警 スーパーと連携

昨年の県内の交通事故死者70人のうち高齢者は7割以上を占め、対策が急務となっている。運転免許証を持っていない高齢者にも積極的に教室に参加してもらい、交通安全への意識を高める狙いだ。15日には県警本部で、伊藤泰充本部長が協賛各社と覚書を結んだ。

協賛社Vポイント加算アルビス、サンショウ、J Aライフ富山、三幸、割引券大阪屋ショップ、オレンジマート、三喜有、マルワフード

を設置。まち歩きをしながら、中心市街地のあちこちでチンドンパフォーマンスが見られるようにした。

八尾・杉原中統合の
コミュニティ

今年初めて、コンクールをインターネットの動画サイト「ユーストリーム」で配信。

富山市教育委員会は16日、同市八尾健康福祉総合センターで、八尾、杉原中学校の

コンクール

富山駅南口にも舞台